

## 北海道産サケ野生集団の評価と流域生態系の動植物に及ぼす影響

## 重点研究課題の中間発表について

中島美由紀・佐々木典子

今年の3月11日は誰もが忘れることができない日となりました。当研究課題の進捗をここで報告します前に、東日本大震災で被害を受けられました皆様にはこの課題担当の研究者一同より心からお見舞い申し上げます。

さて、奇しくもこの日に札幌市コベンションセンターで開催されていました第58回日本生態学会札幌大会で、18時から約2時間にわたり本学会自由集会の一課題として、重点研究課題の「北海道産野生サケ集団の評価と流域生態系の動植物に及ぼす影響」のセッションを実施しました。平成21年度から23年度の3年間の研究期間で、現在実施中の研究課題です。参画する共同研究機関は、同じ道総研の環境科学研究センター、林業試験場、地質研究所と、さらに道立衛生研究所、北海道大学及び東北大学と多彩なメンバーで取り組んでいます。11日の自由集会では、その中間報告と位置づけこれまでの各項目の進捗と成果を発表し討議しました。

会場は当日の午後に起きました地震の揺れに大きく揺さぶられ、地震の発生後も場内では続く余震と、非常に多くの学会参加者が情報を求めて会場の外で携帯電話を手にかけているただならぬ光景が終始続いていました。この集会の開始時刻には、まだ仙台空港の閉鎖以外は被災地の詳細な情報が届いておらず、札幌では直接被害がなかったため大会事務局が学会を継続する旨の場内アナウンスをするなど、ものものしい雰囲気の中で、このセッションが始まりました。以下は同大会の要旨集に載せた紹介文です。

北海道では、雄大な自然の中で550万人が生活し経済活動が営まれている。その北海道に回帰するサケは、豊かな自然環境を代表し、一方、多い

年では5千万尾が沿岸と河川で漁獲される道内で最も重要な漁業対象種である。河川に遡上し産卵した後のサケの親魚はホッチャレと呼ばれ、かつてはその価値が認識されていなかった。しかし、ホッチャレが溪流の生物や陸生動物の食物になり、河畔林の養分となって流域生態系に寄与していることが、近年、河川や森林環境の分野から報告されつつある。この集会では、現在実施しているホッチャレに関する統合的研究を話題提供する。その内容は、野生魚と孵化場由来魚の集団評価、および、実証試験や同位体・微量元素分析による河川・河畔域の生物と水質・土壌環境への影響解析であり、ホッチャレの価値を様々な研究分野で解明するものである。集会では、サケを北海道における生物多様性の保全と水産業の振興との共生の象徴種として位置付けて討議を深めていきたい。

司会者をはじめ発表者とそれぞれの課題名は次のとおりでした。なお、各課題の共著者はここでは省略しています。

司会 石川 靖(道総研環境科学研究センター)  
趣旨説明 中島美由紀(道総研さけ内水試/北大・環境)

- ・非放流河川に遡上するサケの集団評価  
安藤大成(道総研さけ内水試/ 東北大・農)
- ・ホッチャレによる河川・河岸の水質への影響  
安富亮平(道総研さけ内水試)
- ・ホッチャレ中の微量元素の動態  
仁科健二(道総研地質研究所)
- ・ホッチャレによる河川生物への影響  
下田和孝(道総研さけ内水試)
- ・ヒグマによるサケマス利用  
間野 勉(道総研環境セ)
- ・キタキツネの餌資源利用の推定

中島美由紀 (道総研さけ内水試/北大・環境)  
・ ホッチャレ由来の栄養が河畔林生態系に及ぼす  
影響

長坂 有 (道総研林業試験場)

総括 杉若圭一 (道総研さけ内水試)

集会にはこのように地震の影響と遅い時間帯にも関わらず、総勢で約 50 名が参加しました。終了予定時刻を過ぎても質疑が活発になされ、会場の暖房が切れた 15 分過ぎによりやくお開きとなりました。北海道で河川に遡上しているサケマスの親魚の野生集団の形質評価と流域生態系の個々の動植物への影響を明らかにすることについて参加者と意見を交えましたことは、研究内容の精査や取りまとめの上でたいへん参考になりました。この課題は今年度末で研究期間を終えます。この秋のサケマスの遡上時期の調査分析後に最終結果

を取りまとめ、その成果をまとめて公表する予定です。

共同研究機関である東北大学の研究室も震災で相当の被害を受け、3 月の時点では当課題の一部の分析も遅延するのではと懸念されました。しかし、中嶋先生をはじめ担当者や関係者の尽力で研究を予定どおり進める見通しが立ちました。

震源地から遠く離れた北海道ですら、このように震災が影響しております。ましてや、被災地では計り知れないほどの問題が山積されていることと察します。

最後になりましたが、皆様のご安全と被災地の一刻も早い復旧をお祈り申し上げ、当研究課題の進捗報告とします。

(内水面資源部

なかじまみゆき・ささきのりこ)



第 58 回日本生態学会札幌大会自由集会

「北海道産サケ野生集団の評価と流域生態系の動植物に及ぼす影響」の会場風景